

有田川町議会広報
かわら版

平成19年2月発行

第4号

発行 有田川町議会
住所 和歌山県有田郡有田川町
大字下津野2018番地4
郵便番号 643-0021
電話 0737-52-2111
FAX 0737-52-3210



有田川町フォトコンテスト町長賞「舞うよろこび」(写真提供:北 栄輔氏)

もくじ

一般会計補正予算等	2 ~ 3
町長にもの申す(一般質問)	4 ~ 18
声のコーナー(中学生の議会傍聴記)・請願等	19
編集後記等	20

一般会計補正予算 2億1000万円!!

金屋中学校の改修設計費に1740万(債務負担行為)

平成18年第4回定例会は12月12日から22日まで11日間の日程で開催されました。本定例会には平成18年度補正予算、平成17年度決算認定、工事請負契約などの議案を審議し、すべて原案の通り可決しました。

○補正予算の内訳

(単位：千円)

項 目	補正前の額	補正額	計	摘 要
一般会計(専決処分)	16,839,435	31,000	16,870,435	知事選学費
一 般 会 計	16,870,435	212,626	17,083,061	合併地域振興基金積立金他
住宅新築資金等事業特別会計	18,031	2,280	20,311	償還元金他
国民健康保険事業特別会計	3,510,509	17,936	3,528,445	一日、脳ドッグ助成金他
老人保健事業特別会計	3,737,880	203,000	3,940,880	医療給付費他
介護保険事業特別会計	2,112,151	△ 49,374	2,062,777	介護予防サービス給付費負担金他
簡易水道事業特別会計	1,081,221	48	1,081,269	一般職給料
農業集落排水事業特別会計	302,894	842	303,736	光熱水費(電気代)他
公共下水道事業特別会計	1,398,097	2,190	1,400,287	工事請負費他
水道事業会計		10,500		工事請負費他

沼口農協線に554万5千円

中井原本線に318万1千円

徳田堤防線に972万5千円

土木関係

・大谷農道整備に664万5千円

・生石高原民有地の買収の調査に325万5千円

・低コストハウス(トルコキキョウ)設置補助金に620万円

・有害対策に262万2千円

産業関係

・第3子以降出産祝い金13人に、390万円

・発泡スチロール圧縮機購入に350万円

福祉関係

一般会計補正予算の中では



金屋中学校全景

・合併地域振興基金積立金1億円

その他

・金屋中学校大規模改修に伴う設計予算を1740万(債務負担行為)

教育関係

過疎地域自立促進計画の策定案決まる!!

5ヶ年計画で(実施した事業も入れて) 337億円

その他の議案

◎工事請負契約

- ・町道川口立石線道路災害復旧工事落札率93.5%

◎公共下水道工事請負変更契約

- ・吉備第2幹線管渠布設工事(第4工区)ほか5件、落札率77%、94.9%

◎条例の制定・廃止

- ・有田川町合併地域振興基金条例の制定
- ・有田川町西ヶ峯地区コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の制定
- ・有田川町特別職の職員で非常勤のものへの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定
- ・有田川町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定

・有田川町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定

- ・有田川町消防費じゅつ金及び殉職者特別費じゅつ金条例の一部を改正する条例の制定

・地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

- (助役という役職が副町長という役職に改名)
- ・有田川町副町長の定数を定める条例の制定

◎和歌山県後期高齢者医療広域連合の設立

- (75才以上と65才から74才の寝たきりの方の医療制度をつくる。年金からの天引き。月6千400円程度の保険料となる見込み)

◎和歌山県市町村非常勤職員公務災害補償組合を組織する地方公共団体の数の増加とこれに伴う規約の変更

- ・和歌山県市町村職員退職手当事務組合規約の変更

◎和歌山県市町村職員退職手当事務組合規約の変更

- 126万2千円(ただし、実施済みの事業費も入っている)
- ・産業振興106億1753万円
- ・交通・通信体系の整備99億4703万6千円
- ・生活環境の整備53億6315万7千円
- ・保健福祉の向上6億5607万5千円
- ・医療の確保6420万円
- ・教育の振興52億924万7千円
- ・地域文化の振興4億3千万円
- ・地域の自立促進に必要な事項14億6401万7千円

◎和歌山地方税回収機構規約の変更

- ・有田周辺広域圏事務組合規約の改正に関する協議

◎有田聖苑事務組合規約の変更

- ・有田郡老人福祉施設事務組合規約の変更

◎有田川町辺地総合整備計画の策定

- ・計画案 (H18~H22年まで) 14事業で15億9019万3千円

◎有田川町教育委員会委員の任命

- 平松 一彦氏

◎有田川町八幡山林財産区管理会管理委員の選任の同意

- 保田 英夫氏

町長にもの申す

一 般 質 問

こんなことが取り上げられました



中山有田川町長

登壇順	質問議員氏名	質問事項	登壇順	質問議員氏名	質問事項
1	増谷 憲	<ul style="list-style-type: none"> ・地域産業と雇用対策について ・有害鳥獣対策について ・防犯灯の維持管理について ・平成19年度の予算編成について 	10	殿井 典	<ul style="list-style-type: none"> ・合併して有田川町になって1年、町としての進行方向、現在のままでいいのか ・指定管理について
2	細東 正明	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯灯電気代の地元負担の件 	11	竹本 和泰	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎の位置付けと事務組織機構について
3	佐々木裕吾	<ul style="list-style-type: none"> ・地上デジタル放送移行に伴う難視聴地域に対する今後の対応について 	12	尾上 武男	<ul style="list-style-type: none"> ・町道天満線・歩道設置について ・旧有田鉄道の踏切撤去について ・藤並駅改修について ・奥養鶏団地への土砂の搬入について
4	中面 正門	<ul style="list-style-type: none"> ・合併1年、町長公約の所見を伺う 	13	堀江真智子	<ul style="list-style-type: none"> ・パチンコ店出店問題 ・ゴミ問題 ・公園について ・教育環境の整備
5	森本 明	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度の検証等について 	14	橋部 重計	<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度の予算編成と今後の財政運営について、町長の姿勢を問う
6	岡 省吾	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団の活動について 			
7	前勢 利夫	<ul style="list-style-type: none"> ・財政について ・産業について 			
8	坂上東洋士	<ul style="list-style-type: none"> ・清水やまびこ作業所に温かい福祉と愛の手を！ 			
9	中山 達	<ul style="list-style-type: none"> ・行財政改革について ・教育問題について 			



合併した町も「三位一体改革」で やっていけない!

増 谷 憲

地域産業振興と雇用 対策にどう取り組む

質問

町の重要な第一次産業振興策にどう取り組むか。また医療・介護など、福祉施策の充実に雇用増を求める。

公的部分で消防職員の最低基準配置人員からみてあと34人の配置が必要、計画的に増員を求める。

観光振興策は和太の観光学科設置に伴い観光光源や現地調査を依頼してはどうか。

町長

農産物のブランド化と企業誘致と、今ある企業にも雇用を働きかける。福祉関係の雇用は慎重に検討したい。観光学科への調査依頼は今後検討したい。消防職員は条例定数の64人まで2、3人の枠があるので順次採用していく。

今後の有書届出被害 にどう取り組む

質問

猪やサルなどの個体数を調査し、何匹駆除すればいいのか等、被害状況から対策を求める。有効な捕獲手段は。申請の簡略化と手数料等の財政負担の軽減はどうか。有田地方野生鳥獣被害対策協議会の取り組みはどうか。

農地や山の手入れに対策を求める。

町長

個体数の把握、被害状況も調べていく。今後でもできるだけ補助金を出していきたい。

産業課長

被害対策協議会では駆除実績の報告や被害対策パンフの作成など行っている。

防犯灯の維持管理の あり方を問う

質問

清水地域における防犯灯の電気代負担は地域によって公共施設にあるのを除いて全部撤去するところも出てくるのは問題。しかも撤去費用

まで組んでいるのはどうか。

防犯に効果があるといわれている青色防犯灯の試験設置をしてはどうか。

町長

平成19年度から補助金カットすると言ったことはない。3年後に見直したい。青色防犯灯は研究したい。



三瀬川地区の夕暮れ

平成19年度の予算編 成はどうなるのか

質問

財政見直しはどうか。また生活関連予算

と負担増はどうか。新規事業や継続事業の見直しと見直しはどうか。

機構改革は住民サービスの向上と事務の効率化になるか。

経費の見直し、例えば

入札制度のあり方、町3役の報酬削減、議員の費用弁償の廃止、町議会・町村議長会負担金の廃止などどうか。

町長

財政は非常に厳しい。半業の見直しも必要になってくる。保育料や水道料を上げる考えは今のところない。

機構改革は住民からも分かりやすく利用しやすいようにしたい。入札はきちんとしたい。報酬は平成19年度から減額する。町議会等の件は他市町と協議しなければならぬ。

地域の防犯灯にかかる諸費を町負担で!



細 東 正 明

防犯灯の電気代、地元負担は

質問

清水地域においては、合併に至る以前、清水行政局管内734基、全ての防犯灯の電気代を町が負担してきた。吉備・金屋地区では、旧町より電気代、その修繕・補修費を区が負担しているため、清水地域でも平成19年4月から、公共の防犯灯を除くもの以外の電気代を地元が負担するようになる」と聞いている。



中津地区

防犯灯は日夜、地域住民が生活する上で非常に大きな役割を果たしている。

る。設置については、むやみやたらに設置しているわけがなく、地域の実情を十分に汲み上げ、年間15基のペースで設置してきた。とりわけ、私どもの住む地域は民家が建て込んであるわけがないので、地域を照らすこの防犯灯は安全面から大変重要なものである。1基あたりの年間電気代は2500円程度で、人口の多い大きな区では、たいした金額ではないと思われるが、人口・軒数の少ない区での数十基負担となると、区の財政を圧迫し、区費を上げなければ電気代を捻出できないところも存在する。

地元負担の意向を受け、先般各区に申し送りをして、電気代を区で負担すべき防犯灯の数と、公共のものとして町が負担する防犯灯の数を取りまとめた。その中で、管内70基の防犯灯

については、区の財政状況を考えて、電気代をまかなえられないため撤去したくないという申し出も行政局に寄せられている。これは清水だけでなく吉備・金屋の山間へき地においても同じことがいえる。町の財政、地域との整合性も理解するが、地域性を十分勘案し、有田川町全域の防犯灯電気代、修繕・補修を町が負担できないか。

町長

防犯灯の件であるが、平成19年4月1日から補助金を出さないとしようなことは申ししていない。しかし合併した中で、吉備・金屋が地域負担をしているので、3年かけて同じ条件になるよう見直しが必要と考えられている。

吉備・金屋地区でも非常に小さい区もあるので、同様に同じ条件になるよう見直ししていきたい。

職員の交流を図れ

質問

過疎地の問題を広く職員にも理解いただきたいことから、機構改革の中で、吉備・金屋地区在住の職員を清水行政局へ移動・交流も検討し、過疎地の実情を把握することが必要であると思うがどうか。

町長

3町がひとつになったわけであるから、吉備・金屋・清水と各地域に住んでいる職員の他地域への移動・交流も今後どんどん図っていきたい。



有田川町庁舎内



地上デジタル放送移行に伴う 難視聴地域への対応は!

佐々木 裕 哲

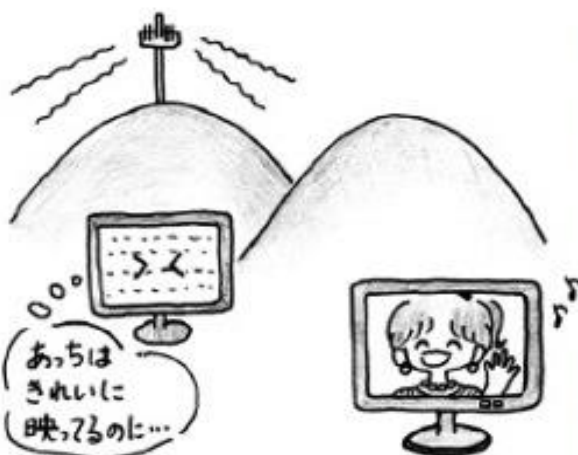
質問 地上デジタル放送移行に伴い、徳田・庄・垣倉・畑浦・西丹生団・北筋・高瀬・植野・奥・明王寺・小島地区等、一部の難視聴地域対策と吉備・金屋・清水(山間地区)では現在共同受信設備により視聴されている地区への今後の対応はどうか。

現行アナログ放送は、平成23年7月までに国の法令により完全移行される。当有田地区は、早ければ試験的に一部平成19年度中に移行される。

デジタル放送は、高画質・高音質はもちろん、見るテレビから使うテレビへと変わる。特に暮らしに役立つ最新情報や、地域情報を見られる点が今までのテレビと異なる。またデジタル放送は今までのように映りが悪く、なんとか見えるアナログとは違い、鮮明に映るか、全く映らないか

である。デジタルになれば受信障害は少しは改善されると言われている。現在、映りの悪い地域でまったく映らなければどのように対応するのか。

方々が映りの悪い中、辛抱してきた。デジタル化により映らなくなった時、個人で対応したら良いというものでない。今回のデジタル放送



以前、私は吉備町議会でもこの問題を取り上げた。また町長及び県知事へ関係区長から陳情書が提出されている。吉備地区へテレビ塔ができて33年経つ。難視聴地域の

63施設で共同受信している。これらも移行に伴い、設備の改修も必要だ。町民が地域に関係なく、平等・公平に生活できるようにこの問題の解決策を今から真剣に考えてい

移行に対して地元放送局として、テレビ和歌山へ県は山へ県はもちろん有田川町からも補助金を出している。また現在、町内では吉備・金屋・清水地区内で

ただきたい。世の中、なんでも共通していえるが、その当事者でないとなかなかわからない。住民の立場、当事者の立場で取り組んでいただきたい。

町長 質問の趣旨は十二分に承知している。デジタル放送になれば、

映るか、全く映らないかのどちらかと聞いている。平成18年度中に試験的に電波が流れた時、対応したいと思っている。また共同施設もこのままでは映らなくなるので対応しなければと思っている。

光ファイバー等も検討しているが、問題点も多い。このことも含めて移行された時点で検討したい。またテレビ塔の新設も考えなければならぬ。更に有田市・湯浅・広川町も関係するので広域で考えていきたいと思っている。

合併1年、町長の公約・所見を伺う



中 面 正 門

若者が働ける場を

質問 若者が働ける場の提供についての施策を問う。

町長 やる気がある方々には積極的に今後も支援する。企業誘致についてはいろいろな企業と交渉しているが、しばらく考えたい。

安心・安全、子育て支援、障害者の自立支援等はどうか

質問 ボランティアの方々が、シルバー人材センターの方で大変な協力をいただいている。今後もしも長く現状の体制が続くよう、行政が一体となって環境充実に努力を願いたい。

町長 ボランティア、シルバー人材センターの方々には、敬意を表したい。また、学童保育も好評価をいただき、幼児保育等の事業の拡大が要望

されている。

新システムへの対応



平成20年予定。目標に向かって協議中である。

国道などの整備は

質問 国道・県道のアクセスについて所見を聞きたい。

町長 42号線は山間の最も重要な道路と認識している。関係する方々のご理解・ご協力を願いたい。

質問 商工会の旧3町合併も大事な問題と考える。特に中小企業の活力支援、ゼロ金利解消による資金繰りなど、経営刷新・技術革新の対応ができるのか。また会員の経営収支が悪くなるばかりでなく、地域格差を危惧する。

町長 商工会の統合は、

だ入浴客の減少に対処して、経営向上の努力をする。

有田の農林業対策は

質問 林業の低迷を危惧している。森林組合の組織力の強化と主体性を伺いたい。

町長 木材活性化センターの運営について、木協組合に協力を願い、林業の活性化に努める。

機構改革はどうか

質問 機構改革は認められるが、住民サービスの低下にならないか。

町長 機構改革は住民サービスの向上が目的。協議においても十分検討を重ね、住民福祉の向上や職員定数等、経費削減に努める。

明恵扶温泉の経営は

質問 明恵扶温泉の経営状況はどうか。

町長 岩盤浴の営業を始めた。来館者には、好評をいただいている。た



指定管理者制度の検証等は?

森 本 明

質問 平成18年9月から、17施設と管理運営に関する5年間の基本協定を締結されたが、ほとんどの施設は、収支のバランスがとれない施設であり、協定終了後に施設の負債が残った場合の対応はどうか。

町長 施設の債務が残らないように、毎年経営状況を精査し、悪い所は改革、改善を図っていきたい。

質問 有田川町ふるさと開発公社の運営改善はどうか。

町長 清水地域には、豊かな自然と観光資源、文化遺産、史跡もあり、やり方によっては多くの観光客も見込めるのであらゆる方面へも営業活動に努めたい。

質問 施設の運営について、助言・指導を行う指定管理施設管理業務審査委員会を設置したのか。また、会議は開催さ



二川温泉

れたのか。

町長 12名の委員さんをお願いし、12月に会議を開き、大変厳しい助言をいただきました。そのことも踏まえ、施設の健全化に努力していきたい。

質問 町内に3つの温泉がある。二川温泉を認知症対応型共同生活（グループホーム）にと思うがどうか。

町長 国の補助金で建てた施設で、他の用途に使用すると、目的外使用で補助金の返還となる場合も生じることから、今後検討していきたい。

質問 ふるさとふれあいの丘スポーツパークはドームの完成でお客が増え、将来に期待が持てると思われているが、採算の取れない食堂は民間活力を導入してはどうか。

町長 夏場は盛況であるが、冬の間の職員活用をどうするのかを問われている。民間委

託も視野にいれて考えていきたい。

質問 藤並駅のリニューアルを控え、町内の一体的な観光施策が望ましいと思う。一度専門家の意見を聞いてはどうか。

町長 大きな視点に立つて点在する観光施設等の、いろんな観光ルート等を専門家の方々にも入っていただき、意見を聞きながら観光施策を構築していきたい。



ふれあいの丘スポーツパーク

家庭における火災時の対応は万全か！



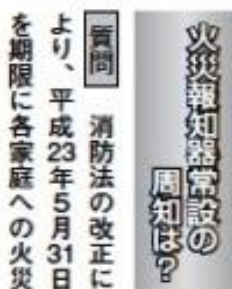
岡 省 吾



消火器を常設されていますか？

質問 有田川町消防団員数は総勢997名の方々に構成され日夜、町民の生命・財産を守るため活動している。火災が発生すると消防隊員が到着するまでの間、消防団による初期消火は早期の鎮火に極めて大きな役割を果たしている。また平常の啓発運動、吉備支団においては下校時の防犯パトロールも行われ、まさに地域に欠かすことのできない重要な組織である。しかし、合併し組織が大きくなったことで、行事・活動が統一しきれない感も否めない。清水支団では防火査察の

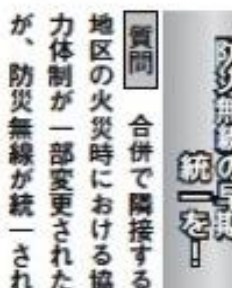
消火器の二斉
点検を！



火災通知器常設の
周知は？

町長 火災においては初期消火が大事であり、そういった関係で消火器の果たす役割は大きいものがある。年明け早々、各支団長に集まっていたく機会があるので一斉点検できないかお願いしたい。

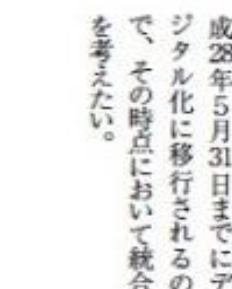
質問 消防法の改正により、平成23年5月31日を期限に各家庭への火災



防災無線の早期
統一を！

町長 今までも悪質な業者がたびたび入って来たことを踏まえて、制度を悪用されないよう町民にパンフレット等を用いて、消防団・区長会を通じて啓発に取り組みたい。また比較的安価で、簡単に取り付けられると聞いており、設置していないため保険が適用されないといったさまざまな問題を生じさせないため、この期限内には全戸に取り付けられるよう努力したい。

質問 合併で隣接する地区の火災時における協力体制が一部変更されたが、防災無線が統一され



防災無線の早期
統一を！

町長 取り急ぎ、旧町にまたぎ隣接する地区にスピーカーを設置し、うまく聞こえるようになるか検証してみたい。一元化については、現在のアナログ式の防災無線から、平成28年5月31日までにデジタル化に移行されるので、その時点において統合を考えたい。



防災無線司令室(ここから緊急放送されます)



新町づくりに必要な財源確保は可能か みかん・山椒・林業等の対策は？

前 勢 利 夫

質問 新町づくりに10年間で329億円。そのうち137億円(41.6%)が特例債を見込んでいるがその確保ができているのか。

町長 財政状況は一段と厳しさを増す中で住民の要請に答えるため、必要な事業を厳選しながら目標達成に努力する。

質問 地方財政の要、地方交付税の算式が検討されているがその影響はどうか。

町長 地方交付税の算式が人口割を9、面積割を1とするのが基本に検討されている。厳しさが一層強くなることが予想される。

質問 「三位一体の改革」により、交付税の見直しが行われるならば、税の配分(国対地方)を配慮することは当然と思うがどうか。

町長 その通りだ。地方6団体は税源配分を現

行の地方4対国6を5対5にし、さらに消費税は現行の地方1対国4から5対2に。個人住民所得割を3%上乘せし、住民税源移譲を強く働きかけていく。

平成19年度作成される中期道路整備計画(5ヶ年計画)の中に改良が全面的に取り入れられるよう全力を挙げて取り組む。

質問 特許庁のブランドに指定された有田みかんの日本一を名実ともに確立するため、産学一体となつて流通も含め全国拠点とせよ。

町長 中紀地域の交通アクセス拠点構想とからめながら実現に向けて努力する。

質問 日本一の生産量を誇る「山椒」のブランド指定に取り組み。

町長 経済産業省特許庁ブランド指定に取り組み。

質問 林業の活性化なしに有田川町の発展はないが。

町長 森林整備計画をふまえ、環境保全、森林



質問 道路特定財源(ガソリン税等)の一般財源化が平成20年度導入されると聞くがその対策はどうか。

町長 地方の道路整備は遅れている。このため



ブランド力をつけよう(ぶどう山椒の蜜)

整備活動、緑の担い手、担い手の社会保障等々の各事業を支援するとともに、県下森林組合10組合に、県下森林組合10組合構想を頭に有田川町に1組合が絶対必要だ。組合とともに統合に向けて取り組み。

清水地区の木材加工所については、現況は厳しいが、全力を挙げて成功に向け取り組み。

清水やまびこ作業所に 福祉と愛の手を!!



坂上 東洋士



作業風景

質問

清水に所在するやまびこ作業所の今後のあり方に関わって、思いやりと優しさの町政をどう構築していくのか。

障害者福祉の観点から質問と要望を申し上げます。保護者やボランティアの皆さん方の気持ちにたつての答弁を期待する。

清水やまびこ作業所は、今から14年前の平成4年に知的障害者や精神障害者の子どもを持つ親たちが、養護学校を卒業

してもその後、働く場所が近くにないということから、空き家の民家を借りて週に3回の半日作業というところで、保護者やボランティアの方々、そして当時の保婦さん方が中心になって開設されたのが始まりだ。

その後、清水保育所が現在の地に新築移転したのに伴い、元の保育所を借りて民家より移り現在に至っている。移って8年の間には利用される方も増えてきた。また平成13年には旧清水町当局に要望書を提出し、国・県・町から一定額の補助金を支出していただき、作業所の運営がよりやりやすくなった。週に5日間、午前10時から午後4時までの間、指導者2名態勢で作業を中心に取り組めるようになり、内容が充実したものになった。しかし、平成18年4月から障害者自立支援法の

施行により国からの補助金110万円がカットされたが町当局の配慮により、現在は運営できてい

る。昨今の状況を踏まえ作業所の方々は、今後の行く末に大変な危機感を抱いている。また平成18年7月にはNPO法人を取得し、地域活動支援センターⅢ型への移行を希望されているが、1日あたりの利用者が10人以上という高いハードルがあり、これらの補助金がなくなったり、減額をされることとなれば障害者の方々の毎日の生活がどうなるのか。本人はもちろんのこと保護者皆さん方は大変心配している。そして第一の思いは身近なところに働く場を作ってやってほしいという願いである。私が3月議会で質問した通り、弱い立場の方々に対する思いやりと、温もりと人間味あふれる町政の実現に向けて

愛の手を差し伸べていただきたい。

町長 やまびこ作業所については地域生活を営む上で非常に重要な役割を担っている施設だと認識している。

障害を持つ方々が今後、行き場がないということにならないよう、また保護者の方々の負担が増大しないよう、できる限りの支援をさせていただきたい。



やまびこ作業所



行政改革はどうか

中山 進



吉原庁舎

質問 自治体が財政的に苦しい時代を迎える中で、北海道の夕張市が財政的に行き詰って新聞紙上を賑わせた。
原因はいくつかあると思うが、観光事業に過大な投資したことが最も大きな原因といわれている。夕張市の経常収支比率が123%といわれている。和歌山県内でも3市1町が経常収支比率100%を超えている中で有田川町も収支比率が年々上がってきているので心配する。

そこで行財政改革について伺いたい。職員の意識改革、行政組織及び人員計画、行政業務の見直し、市場化テスト（行政事務を官と民が入札し、その業務をとる）、経常収支比率、実質公債比率、行政サービスの開放について問う。



全羅庁舎

町長 職員の意識改革は、時代の要請に対応できる高度な専門性と機動力を持った人材を計画的に育成するために必要である。行政という既成概念を打破して、全く新しい感覚で、現在の町行政を見直すために組織力や職員の能力開発の向上を積極的に図る必要があると考えている。

そのために定員管理、給与、人材育成等に関してそれぞれが相乗効果を発揮できるように管理部門の充実・強化も図っていかねばならない。

以上のようなことから職員的能力開発と組織力の向上、適切な人事評価制度の検討・導入、組織の情報共有化し、自由な発想を生む職場づくり、共同のまちづくりと行政評価制度を導入し、正職員の意識改革を増進していかねばならない。

財政難について全職員が共有できるように、これからも研修会を続けていきたい。

行政の組織について、組織の統合、フラット化を図ることでおの3

庁舎で同様に扱う課が存在している。平成19年4月新体制へ移行できるように第一次機構改革を行う予定である。

経常収支比率は、93.1%、実質公債比率は16%と年々上昇傾向になっていっているので今後重視していきたい。

市場化テストは、今後検討していきたい。



清水行政局

有田川町になって1年、 現在のままでいいのか



殿 井 堯

今後どう取り組むのか

質問 平成18年1月1日に合併して1年。町の状態も落ち着いているところだと思う。合併により重たい荷物を背負って船出したと思うが、財政難の中で、町としてどう取り組んでいくのか。どうしたらこの危機を脱することができるのか。

町長 町当局の判断は甘いと思う。前にもいったと思うが、町行政が民間の株式会社と同じ考えを持つ



町議庁舎

て財政に取り組まないで、財政が大変な状況に陥ってしまう。まず、当局から今後どのような目的を持って進めるのか聞きたい。

また、各課長においては、早く旧3町の内容を把握し、各委員会等ですっかりした答弁ができるよう取り組むべきではないか。

町長 大変な財政難であり、今の状態でいけば、平成21年度には、基金を取り崩しても1億6千4百万円の赤字が発生する。このような中で再建団体（赤字団体）に陥らないようにしようと思えば、人件費の削減等、いろんな項目で見直しをする必要がある。

先日も行財政集中プラン5ヶ年計画を立てた。159項目ある。三役の報酬や議員の食料費等、5ヶ年計画で実施するものである。後日、議員さ

んにもお配りして協力していただきたい。今回の運営状況ではどうにもならない。いろんな面で、行財政改革を集中的に行っていきたい。その中で、住民にはなるべく負担増にならないよう計画を進める。

また、各課長には、全般的に答えられるのかといえ、1年では無理なところもある。今後そういうことのないよう職員の変動を含めて指導していきたい。

指定管理者に委ねた施設の運営はどうか

質問 町内の17施設を指定管理にした中でどうしたら経営的に立ち直れるのか。これから検討するのではなく、どうすべきか解答を出してほしいと思う。何とかしなければという答弁の時期ではない。どうするか、はっきりした方針を打ち出し



しみず温泉

ていかないと、今、船出したのに途中でエンジンが止まってしまふ。このような行政ではとてもやっていけない。合併したからには、しっかりと船出をしてほしい。

町長 施設を指定管理にすることにより、責任を持ってやってもらうというところで始めた。いくら努力しても最終的にどうにもならない状態に追い込まれれば、当然その時点で民間委託にするのか、閉鎖するのか、いろんな方策を考えていかなければならない。



庁舎の位置づけと 事務組織機構を問う

竹本 和 泰

本庁舎の位置づけと
審議会の設置は

質問 合併協定書で新

町の事務所の位置につい
て、合併当初は現庁舎を
使って本庁機能を分散さ
せ、一部分庁方式と総合
支所方式の併用とする。
将来の庁舎については合
併後、審議会を設置し、
「既存の庁舎を活用か」
「新庁舎を建設するの
か」検討していくとして
いる。審議会の設置をい
つするのか、町長の考え
は。

町長 合併協議会で現
在いずれの庁舎も本庁舎
とはしないとの位置づけ
である。庁舎については
もう少し職員の削減が進
んだ中で検討していきたい。
審議会の設置は時期
をみて考えていく。

質問 行政事務の効率
化には、本庁方式で行政
運営ができる新庁舎の建
設が必要である。相当な

建設費を必要とするが、
事務組織の効率化等によ
り職員数も目標より5%
以上は削減でき、町負担
となる建設費は10年以
内で充分対応できると思
う。既存の庁舎を使って
いくにしても、審議会を
設置して方向づけをして
いく必要があると思うが
町長の考えを問う。

町長 合併して1年余
り、この時期で新しい庁
舎を建設するのは住民の
理解を得難いと思う。審
議会は設置することにな
っている。できるだけ
早い時期に設置したいと
思っている。

質問 住民の利便性、
地域のバランスを考慮し
た事務の効率化を図る上
で分庁舎としての吉備・
金屋庁舎への当該総合支
所部局の住民・税務課等
6課について振り分けに

よる事務組織の位置づけ
と機構の改善は必要と思
うがどうか。

町長 清水行政局は別
として、金屋・吉備庁舎
は早く1ヶ所に統合する
ことは本場の機構改革に
なると思うが、今の職員
数からすると、どちらの
庁舎でも対応できない。
機構改革は平成19年4
月から、金屋と吉備庁舎
に存在する類似課を統合

したいと考えている。住
民課、税務課の主幹課は
吉備庁舎に置き、金屋庁
舎の税務課と住民課は総
合業務課へ統合する。吉
備庁舎にある総合業務課
は廃止したい。清水行政
局は税務課と住民環境課
を統合し、住民サービス
の低下を招くことなく組
織のスリム化を図ってい
く。

事務組織・機構図（合併当所）



まちづくり交付金事業はどうか



尾上 武 男

町道天満線の歩道設置は

質問 高速4車線化に伴い、吉備インターが南インター近くに移行する。天満や野田地区周辺の住民が高速を利用するには、町道天満線を通るために交通量が多くなると思う。この区間は子どもたちの通学路であり、いつ事故が起きるともかざらない。事故を防ぐためにも側溝を改修し、歩道を設置すべきではないか。

町長 藤並神社前より南インターまでの歩道設置は、県道バイパスが平成21年度に完成予定。交通量が多くなるのかどうか、見極めて検討したい。

旧有田鉄道の踏切の撤去は?

質問 有田鉄道が廃止になって2年ほどになつて。未だに踏切と線路がある。

そのままになっている。早急に整備すべきではないか。

町長 踏切の撤去は、何カ所か整備している。残りの箇所は補助事業の対象である。平成20年度末までには完了したいと思っている。

東側駅改修はどうか

質問 地元の話では、駅の防犯対策について心配しており、駅に交番の設置をできないか。また、東側の乗降口にはバスやタクシーの乗り場の計画があるのか。また、プラットホームの転落事故防止対策や障害者用のエレベーターの乗り降りがスムーズにできるのか。先日、紀三井寺駅を視察してきたが大変不便であり、そのようなことにならないか。

町長 交番の設置については、湯浅警察署と交

渉を重ねてきたが、天満地区に駐在所があるため、無理であると聞いている。そのかわり警察官の立ち寄り場所をつくりたいと思っている。

また東口のバスやタクシーの乗り場の件だが、十分スペースがあり、雨の日でも濡れることなく乗れるようにする。プラットホームでの事故防止はJ&Rと十分協議し、バリアフリー化の対策をとっていきたい。エレベーターについても不便を来さないような仕組みになっている。

防犯対策については、駅舎に10台の防犯カメラを設置する。

養鶏団地への土砂搬入は

質問 先の議会で町長は、横浜市での証明があるので土砂の搬入について心配がないと答弁したが、良質の土砂であれば



土砂の搬入がされている養鶏団地(野井地内)

わざわざ遠い有田まで運んでくるか。他の廃棄物が入っていないか確認しているのか。

町長 養鶏団地のところは、廃棄物の処分場ではなく、建設土砂の処分場であり、町が立ち入ることはできない。しかし、横浜から搬入してくると指摘があったので一度、保健所と所有者の方と立ち合いで調査した。産業廃棄物が混入していないと結果がでていた。また、地元の人々の心配を取り除くために年一回詳細な検査をしたいと思っている。



子どもたちのための よりよい教育環境整備を

堀 江 眞 智 子

PTAから提出された署名

質問 PTAから提出された5000筆もの署名を、どのように受けとめたか。これは子どもたちの教育環境が悪くならないようにと、保護者が一生懸命集めたものだ。町長にその認識があるのかどうか問う。また関係機関、業者にはどのような働きかけをされたのか。

規制する条例の制定についてはどうなっているのか。この地域は町づくりでも文化・教育ゾーンに位置づけられている。熱意を持って対処すれば中止できるのではないか。

町長 署名は重く受けとめている。業者にも伝えていく。この場所は町としての規制がかかっていないので、出店するなどは言えない。風俗的なものが建てられないゾー

ンにできないか、今後検討していく。



PTAから提出された署名

ゴミ問題も解決しませんか？

質問 ゴミの分別やゴミ袋の種類、市町村によつてちがいがあがる。住民の立場にたつて一番良いといえるやり方に少しずつでも変えていくのが、行政の姿勢と私は考える。

自宅からゴミステーションまで遠い方にとつて、ゴミ出しは大変だとよく聞く。現在、区や班単位でのゴミステーションの管理が定着してきた感もある。しかし、大変な努力のかかっている区もある。その一方で県道沿いに袋を出しているところもある。せめて主要道路には、高齢者の方がゴミ袋を出せるようにならないのか。また指定袋の販売手数料が売り上げの30%近く占めているが売り上げと手数料の差額が原価なのか。

町長 今のやり方が一番いいと思っている。合併による大量一括購入で、ゴミ袋の大で5円50銭、町の収入となる。その利益分は今までもゴミステーションに補助している。

質問 高齢者などに親切な対応ができないのか。住民から高い袋代を取っているから住民にメリットとなる取り組みに活かしてほしい。

町長 ゴミ収集処理費に3300万円かかる。清水地区でやっているような方法を金屋や吉備地区でも検討すれば、アルミ缶などは区の収入になる。

子どもたちの安全な遊び場が大切

質問 地域だけの負担や責任とならないような公園の設置・管理を求めらる。

町長 区長と相談し、設置していく。老朽化している遊具は調査の上、地元と相談しながら修理や撤去をしていく。

教育環境の整備を

質問 学校の温度調査の結果をもとに、エアコン設置の計画を明らかにされたい。また、財政状況が厳しいからと安易な学校の統廃合は絶対に許せない。

教育長 安全確保も含め環境整備は責務と考える。

町長 子どもがその学校で学びたいというのであれば廃校は考えない。

平成19年度の予算編成と 財政ピンチのこれからを問う



楠 部 重 計

今後の財政運営は

質問 財政ピンチの中

「有田川町のまちづくり」は、平成17年度の決算状況をもとに財政構造は、支出合計に占める義務的経費は40・6%を占め、公債比率は18年度で借入制限のかかる（3ヶ年平均値）18%以上に達する見込みである。19年度予算編成は、やること、見直すことを、十分町民の理解を得て取り組まれたい。

町長 適正な規模となるまで行財政改革の推進を図る。特にこれからの5年間はきびしいと思う。行財政の集中改革プラン159項目、細部に分けて支出の見直しを徹底したい。

地方交付税は計画通り町へ入るのか

質問 合併前の財政見

通しは「合併すればこうなる」の地方交付税は計画通り10ヶ年の算入見込みが可能か。

町長 地方交付税の各自治体への配分額は人口と面積を基本にした「新交付税」の導入により、見直さなければならぬと聞いている。

役場の機構改革は

質問 議場への執行部

側の出席者は、町長、助役以外20名の内、旧吉備12名、金屋7名、清水1名である。分庁・支所のバランスを考慮に入れた職員の配置を機構改革で取り組まれたい。

町長 平成19年度をメドに機構改革を行い、バランスのとれた人事配置をしたい。

町長は分庁・支所へも出向いては

質問 地方の実情や住

民との対話・職員の意識向上のためにも町長に各庁舎へ出向くよう提言してきたが実行されたのか。

町長 各庁舎で月2回ほど執務をとりたかったができなかった。19年度は必ず日程を調整し、体制をとる。

町有地の処分は

質問 旧町から処分さ

れずに残っている町道敷地や公共用地などを、財産処分し、官・民の活性化についてはどうか。

町長 売却可能な所は処分したい。

小学校廃校跡地の活用方法は

質問 廃校舎の跡地、建物の有効利用の早急な対応はどうか。

町長 地元の方々とできる限り相談し、検討を行う。また民間へ売却す

る場合、補助金、起債の問題があり、十分調査し、結論を出していく。

旧金屋町の公共下水道の進捗状況はどうか

質問 平成9年度から始まった鳥屋城地区の下水道整備の進み具合はどうか。

町長 旧金屋町の公共下水道は合併の重点項目に入っている。アンケート調査を実施したその結果、古備の公共下水道の加入負担金の決定具合、個人の浄化槽設置も増えていることから、市町村設置型浄化槽を視野に入れ検討したい。



鳥屋城小学校跡地

声のコーナー

もっと町のことを知りたい



熱心に聞き入る安諦中学校の生徒さん

安諦中学校 3年

岡本 浩典

議会傍聴に行き感じたことは、議員さんや町長さんが真剣に僕達の生活を考えてくださっていることです。自分がイメージしていた議会は吉備や全屋の人が中心になって行われる政治なのではないかと思っていたのですが、実際は全然違いました。清水出身の議員さんが7人もいて活躍されているし、全屋・吉備の議員さんも清水地区特有の問題ではないかと思われる点について考えてくださり、とてもうれしかったです。有田川町という名前が不慣れなのは僕達だけで、議員さん達は吉備も全屋も清水もないのだなと思いました。もう一つ感じたことは、僕は議会は町の財政のことばかり討論するのかと思っていましたがそうではなく、地域住民の声についても取り上げてくれているところに驚きと親近感を得ました。議会傍聴をしたのはわずかな時間でしたが、時間以上に多くのことを学びました。この経験をこやしにして公民の授業を受けていきたいと思います。ありがとうございました。

安諦中学校 3年

北畑 智子

初めて議会を傍聴させていただくのに、私は傍聴席が広いのだろうなと思っていましたが、思ったより狭く感じました。議会を傍聴させていただくと、一般質問の内容が私にとってとても難しかったです。でも旧清水町に当たることもあったので聞きもらさないようにと懸命に聞きました。議会の中で合併について話が出たとき、一人の議員さんの質問の中で「合併せんかったら良かった」という声があるのを聞きました。それに対しての町長さんの答弁より、合併していなかったら旧清水町にお金あまり来なくなり財政がすごく厳しくなっているところを、合併したことでその厳しい事情を乗り越えていけていると知り、私は合併したことによって今までよりも良い生活を送ることができていると思いました。議会を傍聴させていただいて町の状況などを聞いて、もっと自分の町を知りたいと思いました。ありがとうございました。

安諦中学校 3年

松浦 佳奈子

私は初めて議会を傍聴しました。傍聴席と議員席が思っていたよりも近くておどろきました。少しの時間しかいることができなかったのですが、内容が私たちの生活にとっても関係あるものが多かったので、分かりやすかったです。例えば、防犯灯についてはすべての地域が平等にしなくてはいけないのだろうなと感じました。生活していく上で問題は絶えないのだなと思いました。今回初めて傍聴させていただいて、議会はこのような運営されているんだなあと改めて感じました。また、質問する側も質問に答える側も、前もっていろいろ準備していかなくてはいけないことが分かりました。次はもう少し長い時間、傍聴したいと思います。ありがとうございました。

請願・陳情

採 択

- ◎吉備中学校へサッカー部の設立を求める請願
- ◎安全・安心の医療と看護の実現のため医師・看護師等の増員を求める陳情

継続審査

- ◎「集配局の廃止再編計画」に反対する意見書採択に関する陳情
- ◎みかん園のかん水基幹施設の老朽化に伴い、緊急整備を行う経費に対する助成措置要望について

意見書の提出

- ◎全国森林環境税の創設を求める意見書
- ◎医師・看護師等の増員を求める意見書

